

# 受 付

7:00～（於：正面玄関前）

# 会 議

7:45 競技役員・各クラブ監督者会議（於：会議室）

※各クラブの監督者1名は、必ず参加して下さい。

# 開 会 式

8:25	選手・役員整列	8:40	選手宣誓
8:30	開式通告	8:50	閉式通告
	大会長挨拶		選手・役員退場
	競技上の注意		

※競技者は、必ず全員参加して下さい。

# 注 意 事 項

1. この大会は、2014年度日本陸上競技連盟競技規則と本大会ルールによって行う。
2. プログラムに訂正がある場合は、受付まで申し出ること。ただし、選手の変更はできません。
3. 招集締切時刻（集合時間）に遅れないこと。（競技日程の（ ）内の時刻までに、その種目の受付をすませて招集所で待つこと。）ただし、女子1000mの出場者は、開会式終了後、ただちに招集所に集まること。
4. ナンバーカード（男子は黒色、女子は赤色）は胸と背の両方に、レーンナンバー（腰ゼッケン）は右腰に、はっきり見えるように付けること。
5. 腰ナンバーカードは招集所で配付したものを着用し、レース終了後、必ず返却する事。
6. スパイクシューズはオールウェザー用とし、全種目において使用してもよい。（素足での競技は禁止）ピンの長さはトラック競技は7mm以下、フィールド競技は9mm以下とする。また、西部陸上競技場ではオールウェザー用でもトンガリピンは使用不可とする。
7. スタートはクラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートも認める。なお、スタートは同じ競技者が2回の不正スタートをしたとき、その競技者を失格とする。
8. リレー競技におけるテークオーバーゾーン手前10mの補助ゾーンは、使用できる。
9. リレーのオーダー用紙・友好100m出場者は、10時20分までに招集所に、決勝のリレーのオーダー用紙は予選終了後ただちに招集所に提出すること。
10. 80mハードルは、ハードルの高さ70cm、ハードル間7m、ハードル9台、スター

トから第1ハードルまで13m、最終ハードルからゴールまで11mとする。

11. 走幅跳・走高跳・ソフトボール投の試技は3回とする。
12. 走高跳の最初の高さは、女子は1m、男子は1m05cmで、女子は1m20cm、男子は1m30cmまで5cmずつ上げ、その後は3cmずつ上げる。また、マットへの着地は足裏からとする。
13. ソフトボール投は公認1号球を使用し、やり投ピットを使用し（投擲角度も同じ）、助走距離は15m以内とする。
14. 8位までの入賞者で同記録の場合は、着順をつける。各種目、8位まで表彰する。
15. 各種目（4年男女100mと1000mを除く）の1位の個人・チームは、全国小学生陸上競技交流大会出場の打ち合わせ会を閉会式終了後に行うので必ず出席すること。
16. 選手は、審判員、監督の指示に従い、勝手に競技場から離れないこと。諸般の事情により競技時刻や実施方法の変更等もあるので、放送や審判員の指示に従うこと。
17. 練習中、競技中は危険のないように十分気をつけること。
18. 競技中に起きた選手の傷病、疾病については、主催者は救急処置を行うが、以後の責任は負わない。
19. 各クラブ監督者は、競技開始前の監督者会議に参加する。また、補助競技場内の用器具の使い方指導や後片付け、整理整頓も行う。
20. 競技終了後、指導者及び選手は、競技場内や補助競技場内のゴミ拾いと掃除をする。
21. 各チームでスタンド内に、テントを建てられる場合はスタンド中断通路より上側で設置下さい。また、他の観客に迷惑の掛からないよう十分に気をつけて下さい。
22. 大会当日の競技場での練習は開門より午前8時15分までとする。補助競技場での練習は開門より閉門までとする。練習に際し、選手へマナーを守るよう指導し、どちらの会場でも観察者を必ずつけて下さい。
23. 招集所に審判補助員を多く配置し、選手のナンバーカード着けを補助します。つきましては招集所には選手だけで入って下さい。  
※ 郡市に1枚だけ貸与するビブスを着用し、招集場所に入場できます。ビブスは監督者会議終了後に出口で郡市名と氏名を記入し、受け取って下さい。